

教育実習（高）
Teaching Practice at High school
科目ナンバー：03EAA4

実習

3単位 1,2学期

【担当教員】

伊藤 敦美

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報 1号棟509室

【授業目的および達成目標】

〔授業目的〕

教育実習はこれまで履修してきた教職の授業の集大成であり、また各履修生が、学校現場において「教師」として立つ貴重な時間である。これまで大学で修得してきた知識や技術を十分には発揮して充実した教育実習をおこなうことが目的である。またわずかな期間ではあるが、児童生徒にとっても大事な教育の時間でもある。生徒、そして指導していただける高等学校の先生方や保護者の方に満足していただけるような教育実習をおこなうことが目的である。また本学の「教育目的 3」「意思疎通能力を有した技術者を育成」することや「教育目的 7」「指導的な役割を果たすこと」の育成をも図る。

〔達成目標〕

- 1) 事前指導を通して、教員としての基礎・基本、実習の意義と目的を理解すること、及び、模擬授業において教科の指導方法について再確認することにより有意義な教育実習を行う。
- 2) 教育実習においては、実習校の教育目標に従い、教科指導力、生徒指導力を身に付ける。
- 3) 事後指導を通して、教育実習における学びを振り返り、自己の課題を認識する。

学習・教育目標

M. 学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践の基礎的な能力と態度を身に付けている。

【授業キーワード】

事前指導、学習指導案の作成、模擬授業、教育実習、事後指導

【授業内容および授業方法】

〔授業内容〕

- 1) 事前指導（教育実習の心構え、模擬授業等）
- 2) 教育実習（実習校にて）
- 3) 事後指導（教育実習の振り返り）

〔授業方法〕

- 1) 事前指導 … 講義および模擬授業
- 2) 教育実習 … 各実習校にて実習
- 3) 事後指導 … 報告および意見交換

【授業項目】

- | | | |
|-----|------|--------------------------|
| 第1回 | 事前指導 | 教育実習にあたっての心構えと準備 |
| 第2回 | 事前指導 | 教育実習の概要と教員の服務・勤務の理解 |
| 第3回 | 事前指導 | 実習日誌の記入方法。授業観察の方法、記録の取り方 |
| 第4回 | 事前指導 | 学習指導案の作成と模擬授業 |
| 第5回 | 事前指導 | 学習指導案の作成と模擬授業 |
| 第6回 | 事前指導 | 学習指導案の作成と模擬授業 |

教育実習（各実習校にて）

授業観察、授業参加、実習授業、研究授業、生徒指導、部活動の指導
学級経営に関する指導（朝会、昼食、帰りの会、清掃など）、生徒指導
教員の職務に関する実習

- | | | |
|-----|------|----------------------|
| 第7回 | 事後指導 | 教育実習報告1）（実習の報告と意見交換） |
| 第8回 | 事後指導 | 教育実習報告2）（自己課題の確認） |

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、教科書等の該当箇所を参照し、授業内容に関する予習を90分程度行い、授業内容に関する復習を90分程度行うことが望ましい。

【教科書】

『教育実習総説』池田 稔他編著 学文社

『高等学校学習指導要領』文部科学省

【参考書】

「教育実習ハンドブック」柴田義松 学文社

「教育実習完全ガイド」山崎英則 編著 ミネルヴァ書房

【成績の評価方法と評価項目】

事前指導の指導案作成と模擬授業（30％）・事後指導の発表（20％）・実習校の評価（50％）

【留意事項】

（１）教科「工業」の教育実習希望者は、原則として前年度学年末までに「職業指導論２単位」及び教育職員免許法施行規則第６条に定める教職に関する科目のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」、「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」の全てを修得していなければならない。また、その他の教職に関する科目についても可能な限り修得していること。

（２）教科「情報」の教育実習希望者は、原則として前年度末までに、「教職に関する科目」の必修科目（12科目）の中から、少なくとも「情報科教育法」を含め８科目以上、および、「文部科学省令（教員免許状施行規則第66の6）に定める科目」４科目の単位を修得しておかなければならない。

(3)教育実習の希望者は年度始め（４月）の教育実習ガイダンスに必ず出席すること。